広報 社協さがみはら みんないいひと タウンニュース
発行 社会福祉法人
相模原市社会福祉協議会
緑区だより 第33号
〒252-0236 相模原市中央区富士見6丁目1番20号 市立あじさい会館内
☎042(730)3888 FAX042(759)4382
✉info@sagamiharashishakyo.or.jp HP http://www.sagamiharashishakyo.or.jp/

気持ちを伝えるお手伝い

～日本語を教えるボランティア活動（藤野地区）から～

ことばの壁を乗り越えて

一昨年の秋頃、子育て中の外国籍の母親から市社協に相談がありました。日本に来てまだ数か月、子どもと二人で過ごす時間が長く、日本語を「聞く・話す」機会が少ない様子で、知人がいない、日本語が分からず人との関わりが持てない、情報が入ってこないなど、様々な「困りごと」を抱えていました。

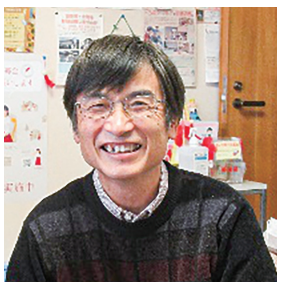
「日本で生活をしていくために日本語を覚えたい。」と意欲のある母親に、市社協では、日本語を教えるボランティアの経験がある和田信弘さんを紹介し、日本語教室が始まりました。

日本語教室での勉強の様子

優しく日本語を教える和田さんは、「日本語を教えるだけでなく、子どものことや御家族のことを聞くなど、本人に向き合うようにしています。そうしたことで本人のストレスも少し発散できたのではないかと思っています。ちょっとした世間話をすることも、とても大事なことだと感じました。」と話してくれました。

得意なことで人の役に立てたら…

和田さんは、退職後の現在も高校で英語を教え、地域では、民生委員・児童委員をしています。10年以上前に、自分のできることで少しでも役に立てればとの思いから異文化交流を行うボランティアグループで日本語を教えていました。当時の経験が今の活動につながっているそうです。


ボランティアの和田さん

「学んでいる方が少しずつ日本語を使えるようになると、うれしいですし、やりがいを感じます。」と語る笑顔の和田さんでした。

あなたのできるボランティア

市社協では、ボランティアを依頼したい方とボランティア活動をしたい方との橋渡しをしています。「何か自分にできることをやってみたい。」「趣味や特技を生かした活動をしてみたい。」という方がボランティア登録する「いるかバンク」を運営しています。

『いるかバンク』への登録やボランティア活動を希望される方は、緑区事務所まで。

（問）緑ボランティアセンター ☎042(775)1761

専門職による無料相談会を開催します！

○弁護士による財産・相続・人間関係の困りごと・成年後見制度利用などの相談

日時 2月24日(水) 午後1時20分～4時
対象 高齢者・障がいのある方とその家族（1人40分間）

○司法書士・税理士等による成年後見制度や後見人の業務に関する相談

日時 2月 4日(木) 午後2時～3時 行政書士
2月12日(金) 午後2時～3時 司法書士
2月18日(木) 午後2時～3時 税理士
2月25日(木) 午後2時～3時 社会福祉士
対象 親族後見人や福祉施設等の職員として成年後見制度に関わる方、制度の利用を考えている方（1人30分間）
申込 電話による事前申込み 042-756-5034
問合 さがみはら成年後見・あんしんセンター（あじさい会館2階）

防災力アップ講座

～コロナ禍における災害ボランティアのかたち～

災害時に設置されるボランティアセンターについて学び、私たちが日頃からできることについて考える講座です。

日時 1月24日(日) 午後1時30分～3時30分（受付午後1時～）
場所 相模原市立産業会館4階特別会議室
講師 髙山弘毅氏（Nukiito代表）
定員 40名（申込先着順）
問合 中央ボランティアセンター
申込 ☎042-786-6181 FAX042-786-6182
✉svc@sagamiharashishakyo.or.jp

問緑区事務所 ☎042-775-8601

福祉コミュニティ形成事業 ～「みんなで『気軽に』、『楽しく』!!」～

「地区社会福祉協議会」が中心となって、地域の福祉課題（困りごと）を発見・共有、解決に向けた仕組みづくりを検討し、実践する「福祉コミュニティ形成事業」。「交流の場づくり」、「見守り活動」、「困りごと相談窓口」など、地区ごとに取組は、様々です。今回は、活動を支える地域の皆さんの声を取りあげ、一緒に活動していただける方を大募集！

コロナ禍で現在活動をお休みしている地区もありますが、再開に向けて、「これならできる！みんなでできる！」是非一緒に活動しませんか。

津久井 小網 ふれあいネットワーク

笑顔とありがとうの言葉がやりがい

活動に参加する岡義夫さんは、以前に地区内で孤立死をされた方がいらっしゃり、とても悲しく残念な思いをされました。地域の人と話をする中で、「小網は、一人暮らしが多い地区であるけれど、このような悲しいことが今後起きないようにみんなで見守り活動をしていこう。」と、立ち上げ当初から参加することになりました。

岡さんは、「活動をすることで地域の中でつながりができ、顔見知りが多くなったことや、道で会った時に会話ができること、みんなの様子が分かるようになったことはうれしい。また、地域の人たちからもらう笑顔とありがとうの言葉がやりがいとなっていて、幸せを感じている。人と話ができるということは、幸せなこと。」と話してくれました。

小網ふれあいネットワーク

75歳以上の高齢者で希望される方を対象に、「あんしん袋（防災グッズ）」をお届けし、年2回、中身の水とビスケットの補充・交換ということで訪問し、声掛けや見守りを行っています。

相模湖 ちょこっとボランティア相模湖

人の役に立っていると思うと心が洗われる

昔から人を手助けするというのは、自然と身についていたようだったと話してくれた石川次郎さんは、地区で開催された「みんなが『ほっとする』『ホットな地域』づくり研修会」に参加したことをきっかけに活動に参加することになりました。

石川さんは、「買物、将棋の相手、庭の草取り等の活動を行っており、活動をすることで人の役に立っていると思うと心が洗われます。活動をする中で、その地域の民生委員・児童委員がつなぎ役になり、地域の方が会員となり活動していけたらと思うようになりました。今後、高齢化が進む中で活発にならざるを得なくなるこの活動に、多くの元気な方に手を挙げていただき、一緒に活動していきたいですね。」と語ってくれました。

ちょこっとボランティア相模湖

ごみ出しや買物、草取り、枝切り、衣服のボタン修繕等、日常のちょっとした困りごとを受け止め、解決するための住民相互の助け合いの活動を行っています。

藤野 おたがいさまネット ふじの

“おたがいさま”で実感する人とのつながり

活動に参加する倉田典昭さんは、生活の困りごとがある高齢者が多いことを知り、ちょっとした手伝いができればいいなと感じ、コミュニティ推進会議において、みんなで助け合いの仕組みを考えました。

倉田さんは、「手伝いに入った時に、相手の方に喜んでもらえることが一番うれしかったです。この活動を通して、いろいろな人がつながっていることを実感しています。『おたがいさま』なこのネットワークを通して地域のつながりがますます広がっていけばうれしいです。」と語ってくれました。

おたがいさまネットふじの

草取り、買物代行、電球交換などの住民の“ちょっとした困りごと”をお手伝いするご近所助け合い活動。困りごとの解決に向けてコーディネーターがサポーターを紹介し支援につなげています。

社協は、皆さんからの寄付金・賛助会費・共同募金に支えられています。
紙面や記事についての御意見を大募集！本紙は、市社協・地区社協各窓口でも配布中

市社協ホームページ 相模原市社協 検索

製作：三五三五 晴奈） 7校